

## 本年度の学校評価

<p>31年度の 重点目標</p>	<p>①本校の歴史と伝統に誇りを持つとともに、規律を守る品位・品格ある生徒、行動力と思いやりを備えた将来社会のリーダーとなる生徒を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日々の集団生活を通して、爽やかな返事と自ら挨拶ができるコミュニケーション力の豊かな生徒を育てる。</li> <li>情報モラルや交通モラルの向上を図り、自他の命を大切に思いやりのある生徒を育てる。</li> <li>学校行事、部活動やボランティア活動への積極参加を促し、統率力、協調性、粘り強さ、社会性を備えた人間力豊かな生徒を育てる。</li> </ul> <p>②社会の動向や教育界の動きを視野に入れて、時代に対応した教育活動を展開する。また、国際理解コースの設置をいかし、グローバル社会で活躍する人材育成を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学校行事の充実、生徒の体験学習を推進し、国際理解教育、平和教育の更なる充実を図る。</li> <li>現職研修の充実をさせて、高大接続改革における新たな大学入学者選抜の研究と指導改善、新学習指導要領の施行に向けたカリキュラム・マネジメントの構築に取り組み、生徒のニーズに応じた教育環境を整備する。</li> <li>「高大連携事業」「知の探究講座」「海外派遣」「出前講座」「現地見学」「インターンシップ」「ジョブシャドウイング」等に積極参加させて、生徒が将来に向けた夢や具体的な目標を掲げ、高い志のもとに大学進学を目指す姿勢を確立する。</li> </ul> <p>③清潔で落ち着いた教育環境、安全・安心な学習支援体制を整備し、心身ともに健康な生徒を育てる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>不適応や学習障害を抱える生徒の情報共有に努め、スクールカウンセラーや関係機関との連携を図り、組織的かつ迅速・適切な問題解決に努める。</li> <li>日常の清掃活動を通して高い衛生・環境意識を持たせるとともに、施設を大切に使い感謝の気持ちを行動に表すことができる生徒を育てる。</li> </ul> <p>④日常の業務内容や時間の使い方の改善を通して、効率的・効果的な業務遂行の機運を醸成し、教職員の多忙化解消を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>学習や部活動における生徒の主体性をいかし、運営方針を遵守した部活動指導を行い、教職員の業務内容にメリハリを持たせる。</li> <li>校務分掌の統合を念頭に、次なる時代に対応した業務の在り方と教職員の組織的な学校運営体制の確立を目指す。</li> </ul>		
項目（担当）	重点目標	具体的方策	留意事項
<p>広報活動 （総務部）</p>	<p>P T A 活動の活性化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>P T A 理事会における講演会の充実を図る</li> <li>広報活動を通して保護者への情報提供を充実させる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者の多様な興味・関心に応えるような講演会の企画・立案や情報提供をする</li> </ul>
<p>学習指導 （教務部）</p>	<p>成績処理システム、生徒指導要録の電子化  新学習指導要領の研究</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>校内研修を通して流れを徹底し、マニュアルの改善をする</li> <li>各教科に対して研究、情報収集を働きかける</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>前年度改善点を踏まえマニュアルを作成する</li> </ul>
<p>読書指導 （図書部）</p>	<p>生徒図書委員会を生活活性化させ、生徒の読書活動を促す</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>従来活動を一層活性化させる</li> <li>生徒図書委員会などの要望を踏まえて図書購入に努めるとともに、新着図書を推進し、利用しやすい環境を拡充する</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>タイムリーな展示や催しに工夫をこらし、生徒が足を運びたい空間づくりを心がける</li> <li>教養講座や読書会は、生徒の興味関心に沿いつつも、違う視点の企画を提示することで生徒の視野を広げ、新たな読書体験のきっかけとしたい</li> </ul>
<p>研修 （研修部）</p>	<p>現職研修の精査と充実  ICT機器を効果的に利用した授業の研究  国際理解教育の推進と国際理解コースの活性化</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>他分掌と連携した現職研修を実施する</li> <li>学習の理解や定着の度合いが高まるようなICT機器の活用方法を模索する</li> <li>ニュージーランド語学研修やSDGs等の国際交流事業の充実を図る</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>変わる大学入試に対応するなど、現状に応じて適切な現職研修を行う</li> <li>プロジェクター、スクリーン等を使いやすい環境を作る</li> <li>ホームページを利用し、活動の様子を周知する</li> <li>大学との連携を図る</li> </ul>
<p>生徒指導 （生徒指導部 生活担当）</p>	<p>地域社会の一員であることと自覚し、交通及び携帯電話利用のマナーを守る  いじめの未然防止と早期発見</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通安全指導の実施</li> <li>携帯電話利用のルールマナーについての啓発</li> <li>いじめや人権についての意識高揚</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>交通死亡事故ゼロの日、交通安全県民運動の期間の交差点等での立ち番指導の実施</li> <li>1年生への携帯スマホ・マナー講座、終業式等での注意、日常的な観察</li> <li>授業や集会、ホームルーム活動において、いじめや人権の問題を生徒が主体的に考える機会を設定</li> </ul>

項目 (担当)	重点目標	具体的方策	留意事項
生徒会活動 (生徒指導部 特活担当)	生徒会行事の内 容検討と生徒会 活動の活性化	・生徒会行事の内容検討 と綿密な計画 ・生徒会活動の活性化	・企画、準備、練習、本番の各段階で達成感や充実感を味わうことができように取り組ませる
進路指導 (進路指導部)	キャリア教育を来 年に向けて具体的 な目標につなげる	・ミスマッチのない大学 進学に向けた高大連携 事業の定着化 ・ジョブシャドウイング への積極的な参加とe ポートフォリオの蓄積 ・担任による継続的な面 接指導	・1年生から継続したキャリア教育を行い、将来の夢を見据え進路指導を行う情報を共有して生徒が『志』を『志』に引き出す ・生徒が『志』を『志』に引き出す ・生徒が『志』を『志』に引き出す
保健活動 教育相談 (保健環境部)	心と身体健康 保持増進	・運動時におけるけがの 予防と正しい手当て ・緊急時における生徒の 対応と適切な行動 ・産婦人科医による健康 講話 ・スクールカウンセラー との連携強化とカウ ンセリングの充実	・保健室で積極的な個別指導やAED講習指導を実施し、緊急時に対応できる生徒の育成 ・産婦人科医による健康講話を実施し、思春期に必要な運動や栄養について学び、実践できるような環境を整える ・スクールカウンセラーとの連携強化とカウンセリングの充実
1年学年会	東高生としての 高学識・高志気・高 自覚・高責任の 姿勢を育てる	・基本的な生活習慣の確立 ・生活時間の向上 ・進路意識と部活動の両立	・明らかな目標を設定し、日々の学習に取り組む ・部活動と部活動の両立 ・部活動と部活動の両立
2年学年会	規律ある高校生 生活を充実させる 計画的な学習と 探究的な学習の 実践を促す 将来の目標を具 体的に定める	・挨拶や身だしなみ、時 間厳守の徹底 ・行動力や自主性を 高める ・行事や部活動に積極 的に参加し主体的に 取り組む ・課題を深く掘り下 げ、家庭学習や課題 を自主的に取り組む ・家庭学習や課題を 自主的に取り組む	・個々の生徒が1年を通して担任面接や進路相談を受けられる環境を作る ・予習・授業・復習のサイクルを徹底し授業の充実を図るとともに、課外等への積極的な参加を促す ・指示を待つのではなく、自ら考え、行動するように促す ・HRや学年集会を通し各行事への積極的参加を促し率力、協調性、社会性を育成する
3年学年会	進路希望の実現 たくましく生き る生徒の育成	・家庭学習時間調査の継 続的な実施 ・面接指導の充実 ・学習指導の充実 ・最高学年としての自覚 の促進 ・自主的行動を促す機 会の設置	・生徒が1年を通して担任面接や進路相談を受けられる環境を作る ・予習・授業・復習のサイクルを徹底し授業の充実を図るとともに、課外等への積極的な参加を促す ・指示を待つのではなく、自ら考え、行動するように促す ・HRや学年集会を通し各行事への積極的参加を促し率力、協調性、社会性を育成する
職員の健康保 持 (衛生委員会)	勤務時間の適正 な管理 教職員の健康障 害防止とメンタ ルヘルス保持	・業務の適正化と多忙化 解消 ・学校開錠時間及び施錠 時間の遵守	・在校時間等の状況記録の結果を活用し、業務の適正化を図るとともにストレスチェックの結果の活用や高ストレス者に対する医師の面談指導を通じて教職員の確実、適切なメンタルヘルスの保持に努める。 ・学校開錠時間、施錠時間の遵守に努める。
学校関係者評価を実施 する主な評価項目	①高大接続改革における新たな大学入学者選抜の研究と指導改善、新学習指導要領の施行に向けたカリキュラム・マネジメントの構築 ②情報モラルや交通モラルの向上を図り、自他の命を大切に心身の教育の充実 ③部活動運営方針の周知徹底と効率的な部活動指導 ④効率的・効果的な業務遂行の機運の醸成と教職員の多忙化解消、ならびに教職員の健康障害防止とメンタルヘルスの向上		